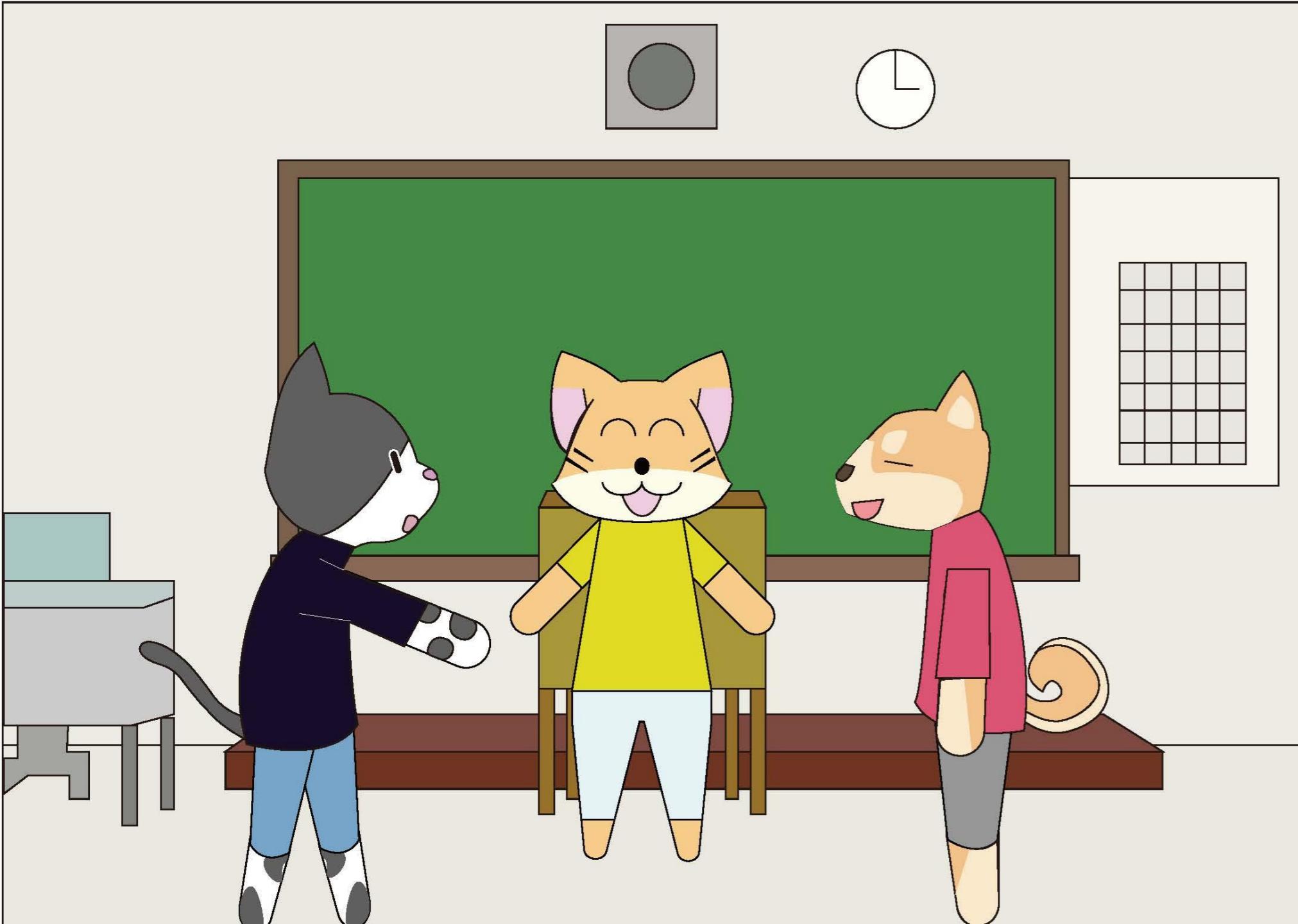


テンテンが教える 自転車の マナーとルール

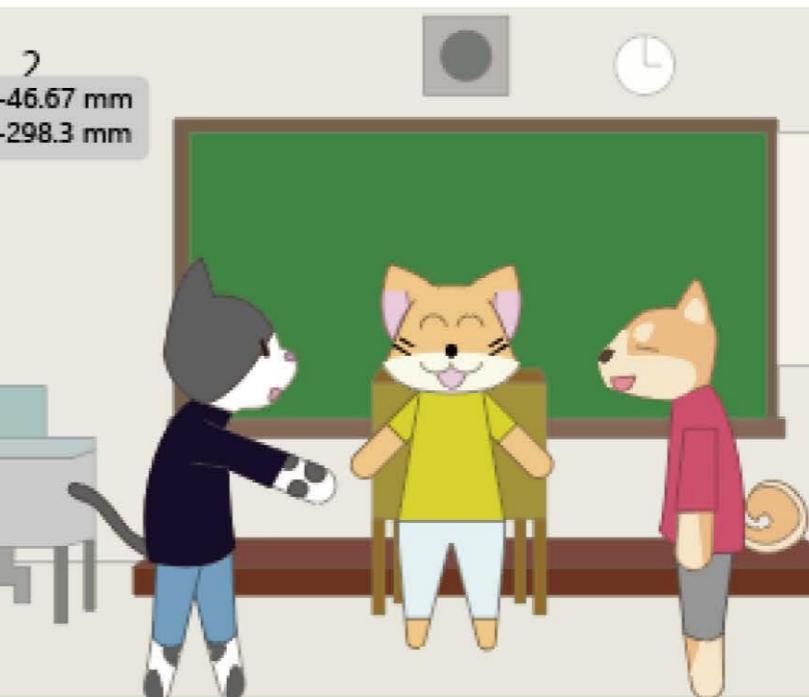


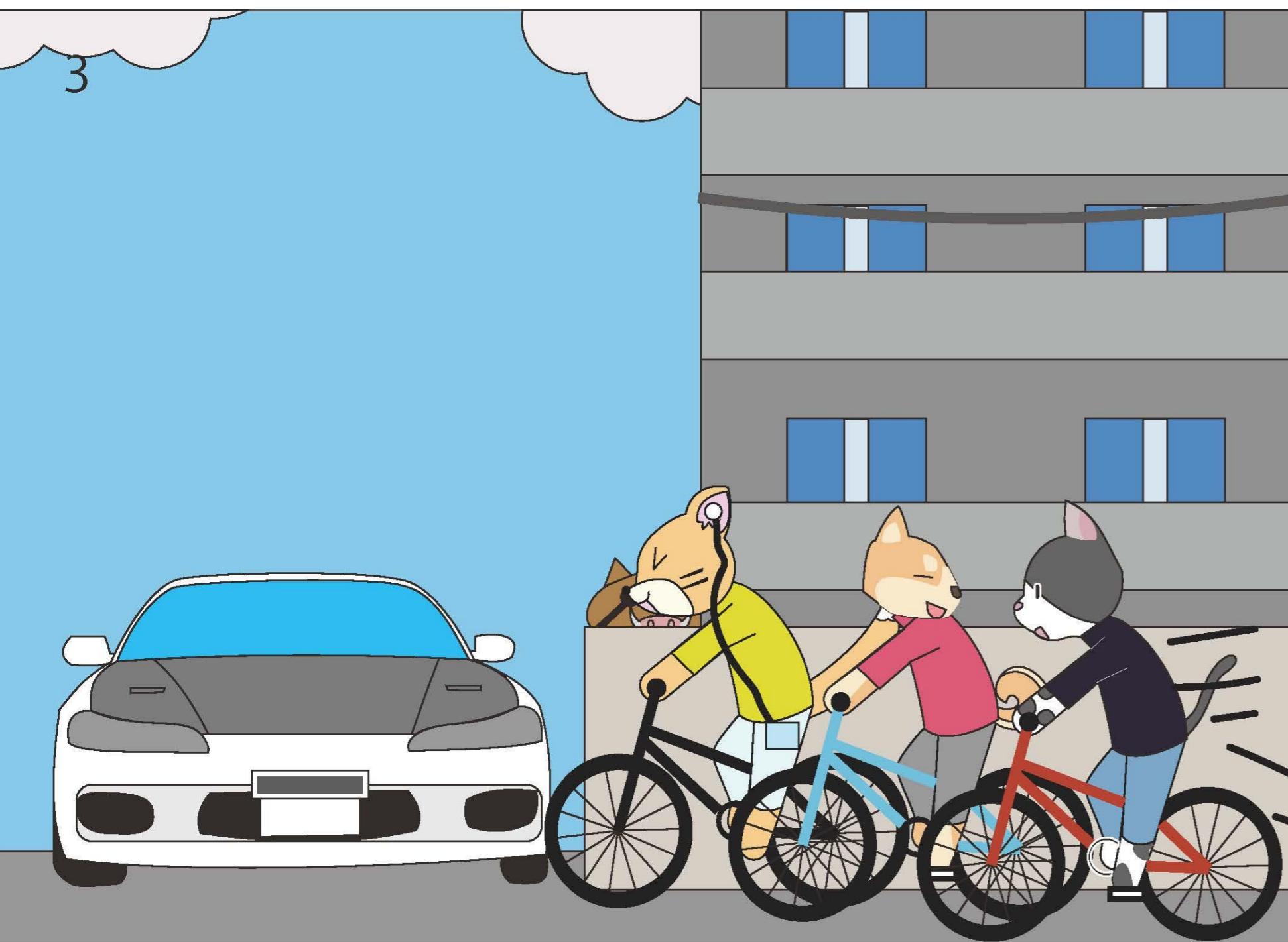
テンテンが教える自転車の
マナーとルール



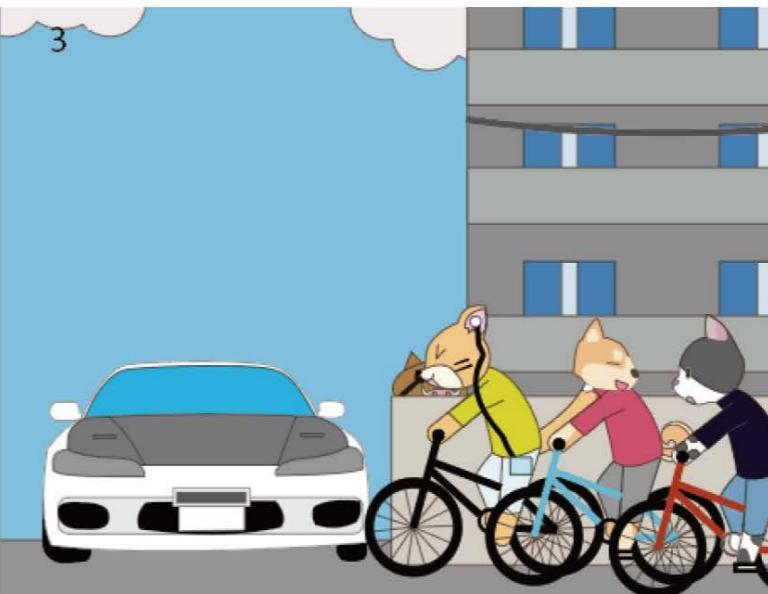


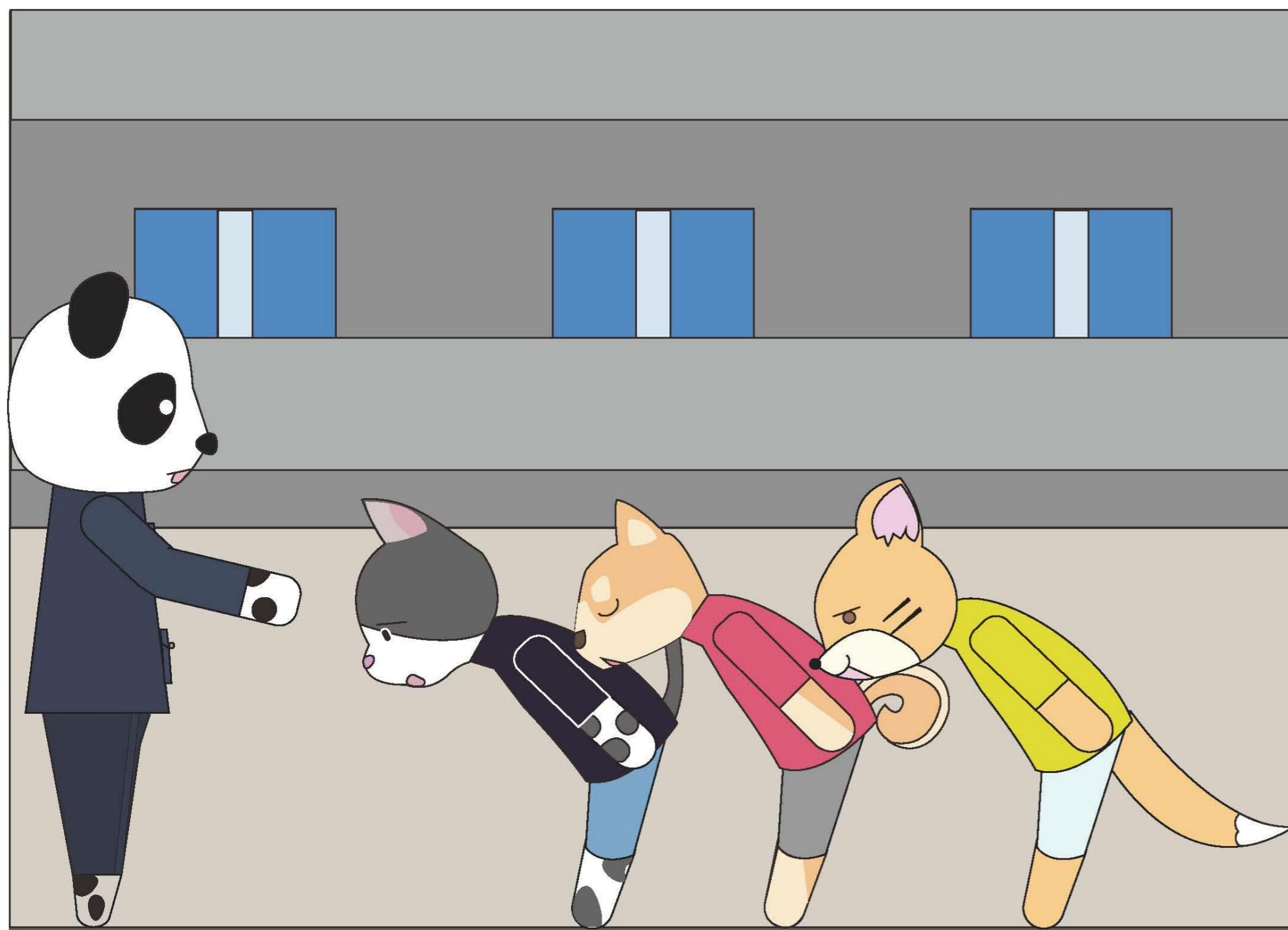
これはキツネ君という少年のお話です
ある日の学校でキツネ君は友達のネコ君とイヌ君とお話をしています
「ねえ、ネコ君、イヌ君。僕ね昨日お父さんとお母さんに
自転車を買ってもらったんだ」とキツネ君は言いました
ネコ君がびっくりしているとキツネ君が「今度の日曜日に自転車に乗て
遊びに行かないか」と言うとイヌ君が嬉しそうに「行こう」といいました



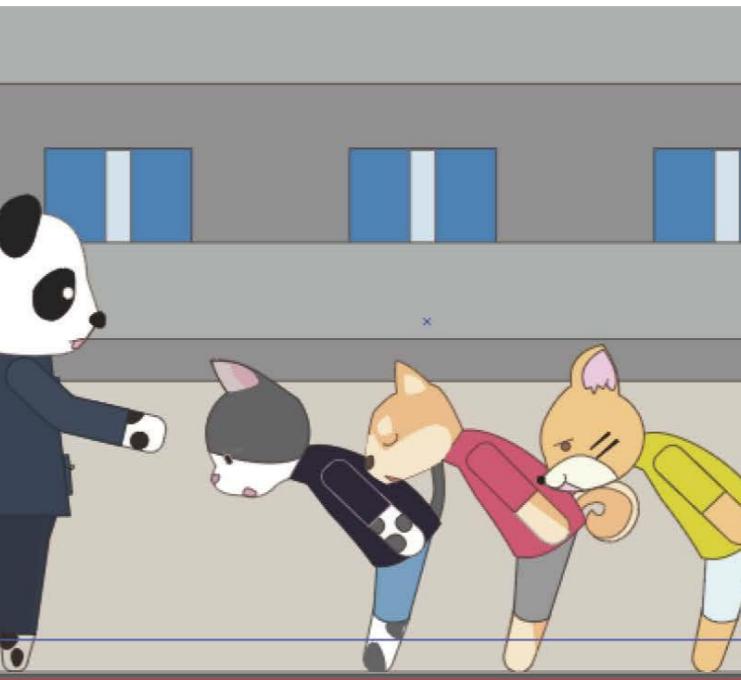


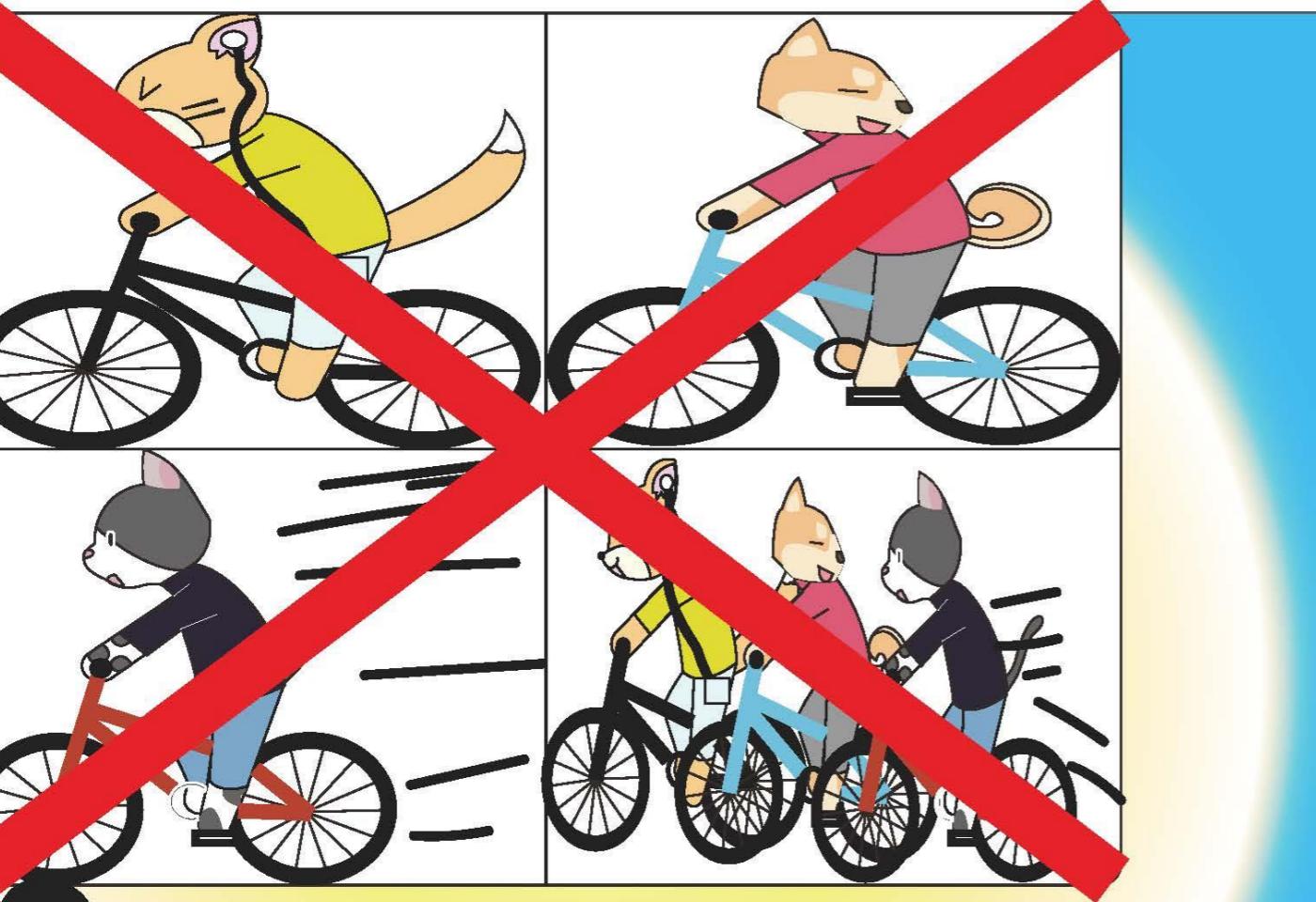
そして日曜日になり狐君たちは近くの公園に行くことになりました
そこでネコ君がイヌ君とキツネ君に勝負をしようといいました
「イヌ君、キツネ君、せっかく自転車に乗ってるから
公園まで誰が早く着くか勝負しようよ」そうネコ君が言たので
三人は公園まで勝負することになりました
しばらく三人で自転車に乗っているとネコ君が言いました
「二人ともちゃんと前を向いて」するとキツネ君が「これくらい大丈夫だよ」
そういうと後ろのほうから「あぶなーーーい!!」そう言われたキツネ君が
あわてたぶれ一きをかけるといきなり車が横切っていきました
もう少しで車とぶつかるところだったのです
キツネ君がびっくりしていると後ろから
「そこの君大丈夫だったかい」と声がしました





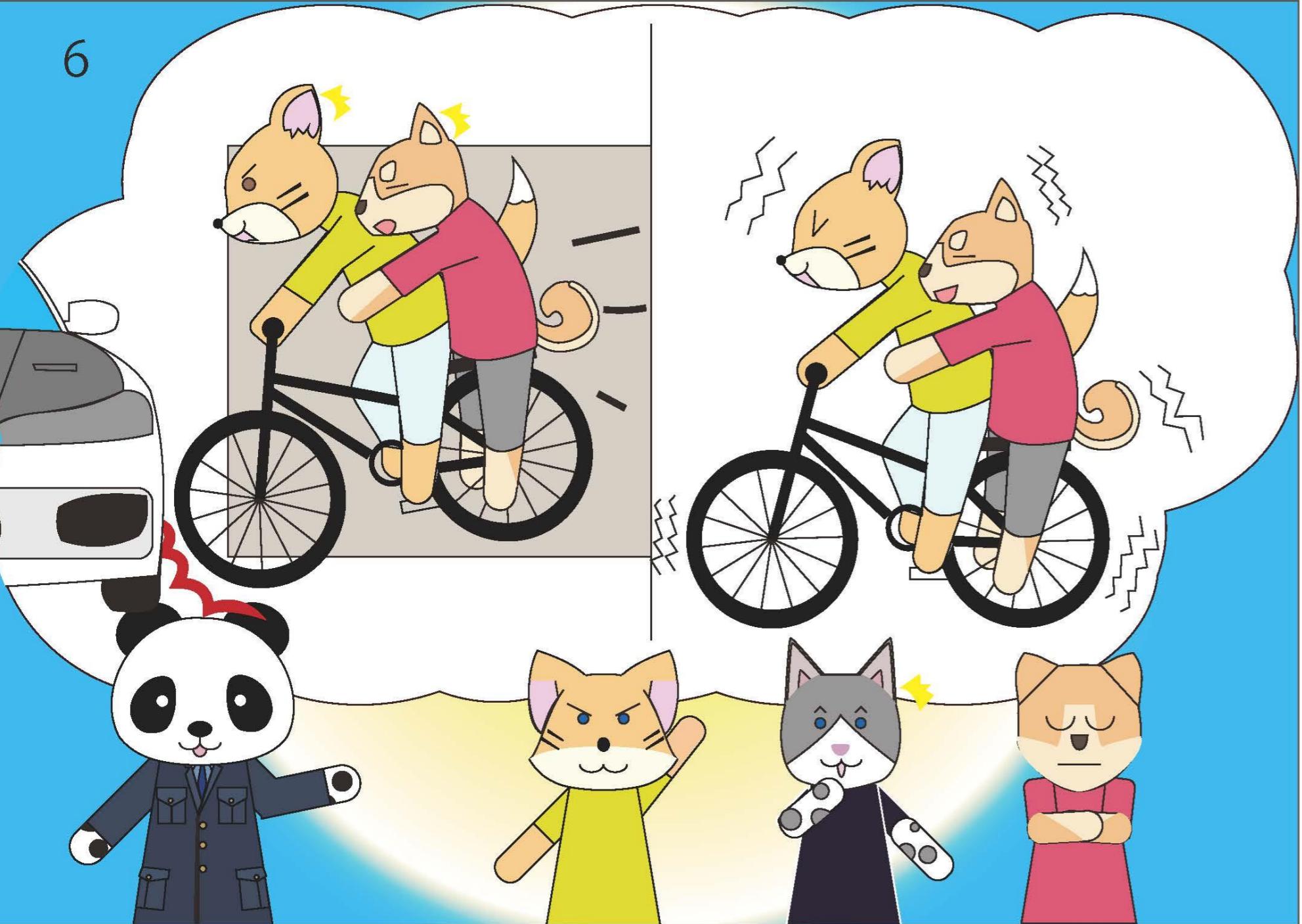
キツネ君が後ろに振り向くとそこには警察官の服を着たパンダがいました
キツネ君が大丈夫だったことを伝えるとパンダが
「前を見て運転しないと危ないぞ。もし事故にあつたら大変なことになってたよ」
そう言って怒っていました。
パンダの名はテンテンと言って自転車についていろいろ知っている物知りさんです
テンテンは自転車についてキツネ君たちに教えるために公園に行きました





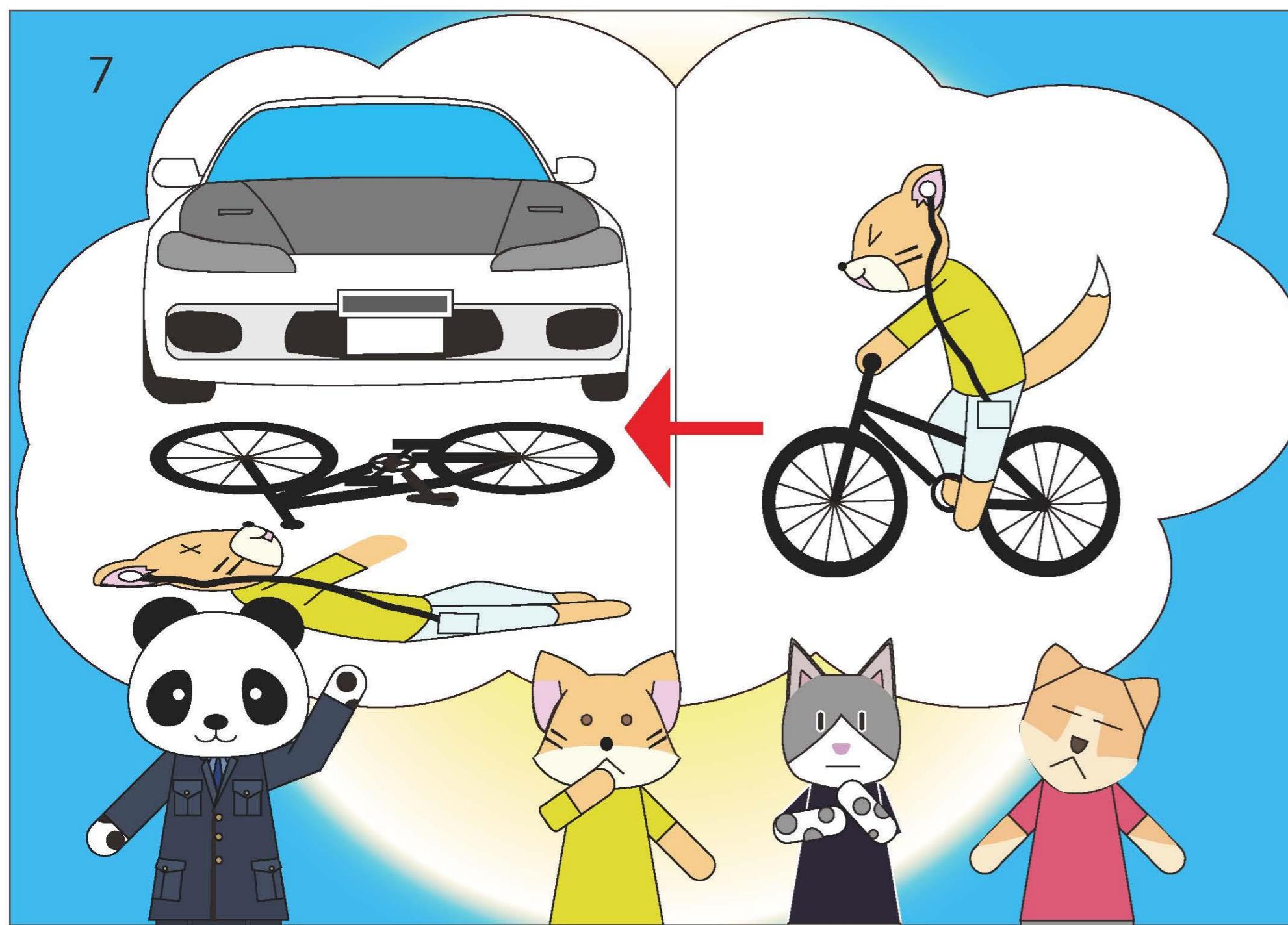
テンテンはキツネ君たちがやっててしまったルール違反について教えました
一つ目が前を見ていなかったこと、二つ目がスピード出しすぎ
三つめが何かをしながらの運転、四つ目が横に並んでの走行
この四つを破ったから事故になるところだったことを伝えました
「もしかしたら死んでしまうかもしれない」テンテンがそう伝えるとキツネ君たちは
危ないことをしてしまったんだと気づきました
落ち込んでいるキツン君たちを見たテンテンがこう言いました
「事故に合わないために自転車のルールを教えよう」そういうって自転車の
運転ルールを教えることにしたのです



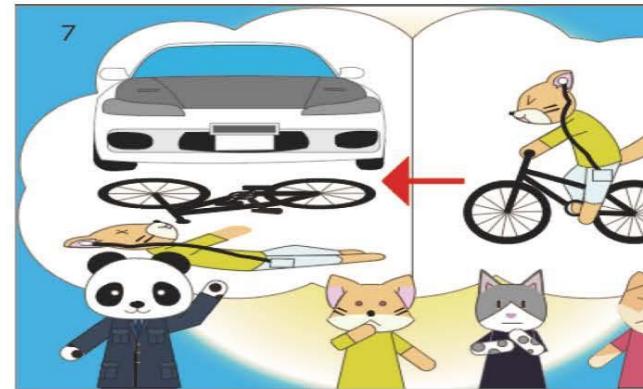


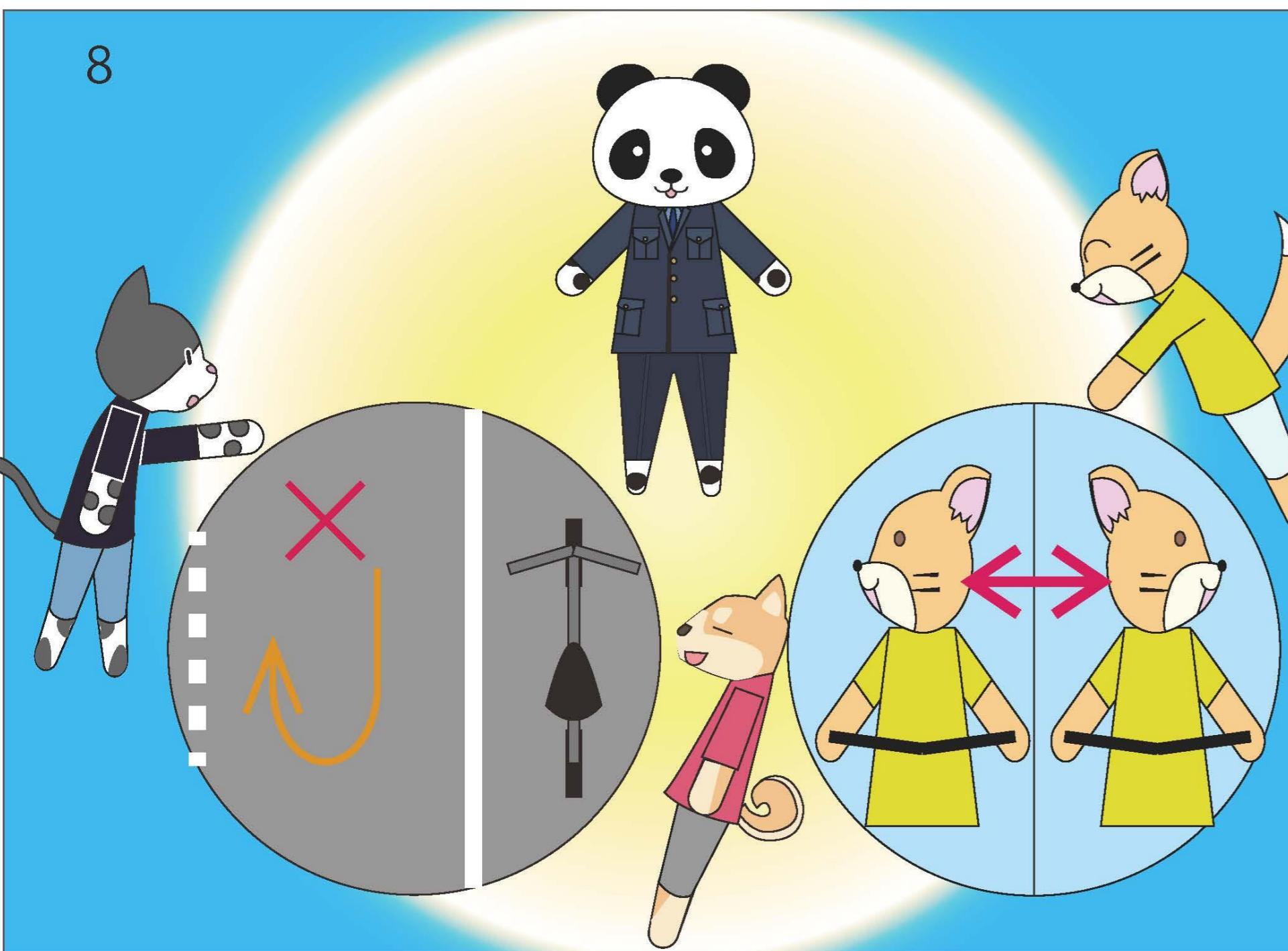
テンテンは最初に自転車の二人乗りがなぜダメなのかを教えました
「二人乗りはバランスが取りづらいんだ」
テンテンがそう言いキツネ君が「なんで？」と問い合わせると
「自転車でバランスが取れないと転ぶかもしれない」そう言い
さらに「二人乗りが危険な理由はほかにもあるんだ」とテンテンが言いました
キツネ君たちが首を傾げるとテンテンはこう言いました
「もし急にブレーキを掛けたら後ろの人は前に投げ出されるかも知れない」
「前に投げ出されたら身体のを地面に強くぶつけてケガをするんだ」そう言ったら
きつね君たちも二人乗りのがなぜ危険なのかが分かったのです



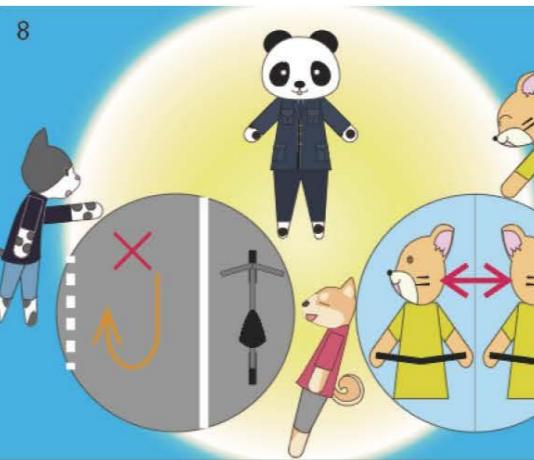


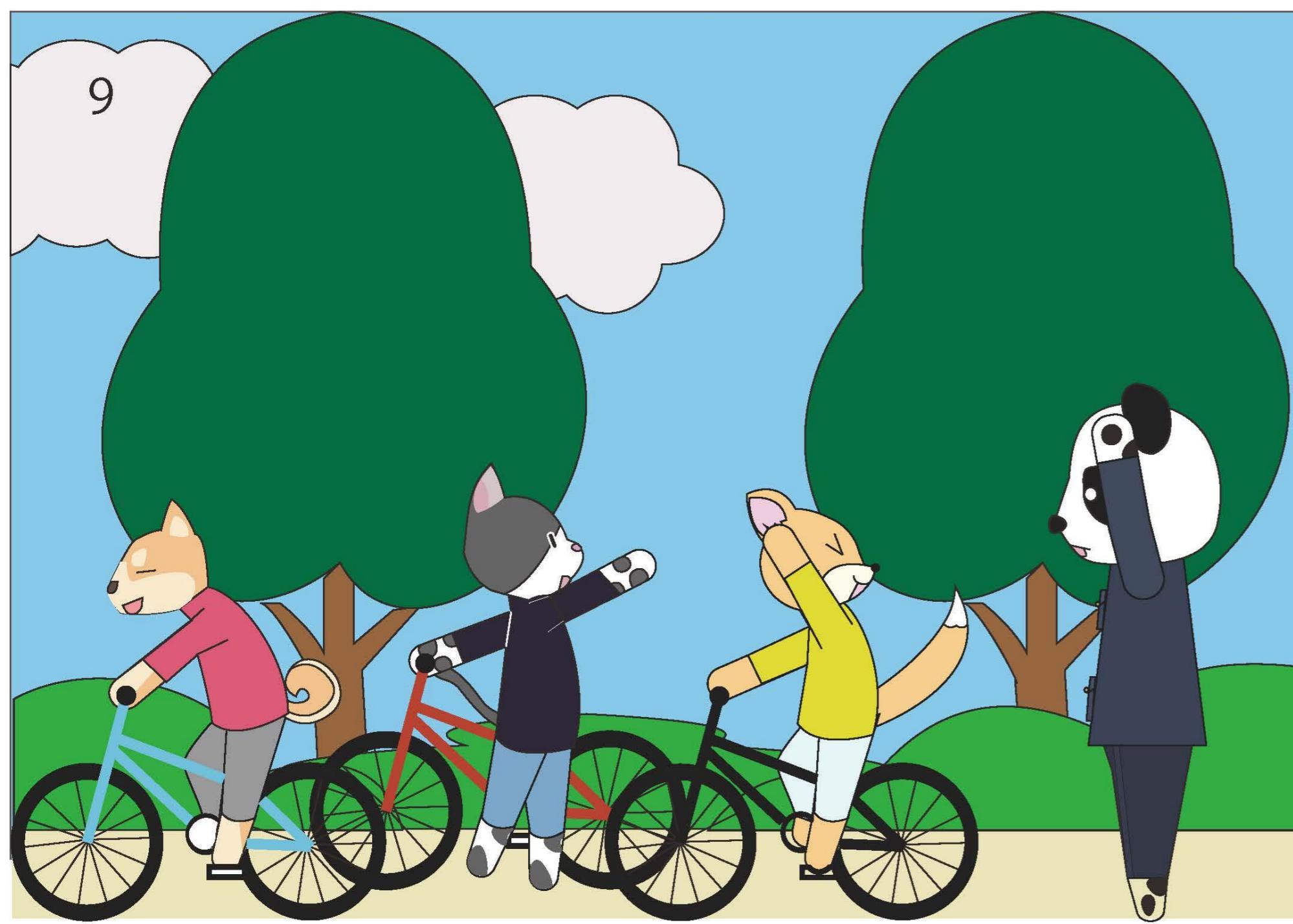
次にテンテンはながら運転について教えました
キツネ君が「ながら運転って何??」と聞いてきました
「ながら運転は何かをしながら運転することだよ」そういったテンテンに
みんなが首をかしげると
「キツネ君が音楽を聴きながら運転していたねそれがながら運転だ」
みんなはそれで納得してくれました
「ながら運転の危険なところは何かをやりながら運転するから周りが見えなくなる」
「そして周りが見えなくなれば事故の原因にもなる。だからながら運転はダメなんだ」
テンテンがそう言いキツネ君たちは自転車のルール違反について学んでいきました





最後にテンテンが自転車のマナーについて教えました
テンテンは自転車のマナーはいくつかあるといいました
一つ目は自転車は車道を走らないといけないこと、
二つ目は車道を走るときは左側通行
三つ目は歩道を走るときは歩行者優先
四つ目が自転車の点検はしっかりしよう
五つ目は子供はヘルメットを着けよう
この五つを守ると自転車の事故を未然に防ぐことができると言いました
キツネ君たちは自転車のマナーを完全にマスターしました





「テンテン今日は自転車のルール違反やマナーについて教えてくれてありがとう」
キツネ君がそう言うとテンテンが「どういたしまして」そう答えました
遠くで帰りのチャイムが鳴っているのでキツネ君たちは帰るようです
最後にキツネ君たちが手を振って帰っていくのをテンテンは遠くから眺めていました

おしまい

